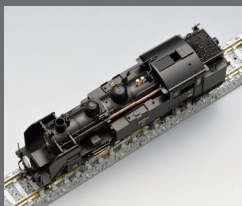




High
Grade
(C11 325)
N
GAUGE



●モデルは蒸気機関車のメカニカルなディテールを再現するべく可能な限り別パーツを用いて、前部端梁とフロントデッキ部、煙室周りなどの前面と、デフレクター（除塵板）からキャブ（運転室）までの側面を、実感的に見せています（前部端梁のアーホース、フロントデッキ部のつかみ棒、標識灯は付属パーツ）。また、常点灯仕様のヘッドライト（電球色LEDにより点灯）は、レンズカットを施して実感的に見せています。下回りではシャープさを追求したスポーク輪心の動輪と先輪、黒色プレート輪心の従台車車輪に加えて、シンダーやクロスヘッド、主連棒、連結棒などの各部も見応えあるものとしています。なお、前頭部側にはリアルな形態のダミーカブラーを装着、その交換用として重連運転用アーノルドカブラーと自連形TNカブラーを付属しています。



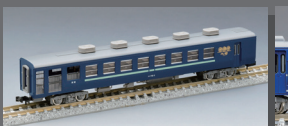
●細い金属線を使用したハンドレールや、銅色の空気作用管を始めとした各種配管類により、ボイラー側面を立体的、かつ実感的に見せています。さらに、キャブ寄りのドーム横に付く金色の汽笛や、キャブ手前の発電機と金色の安全弁は別パーツを取り付け、側面水タンクの上面ディテールと併せて、上からの見た目も実感的なものとしています。また、屋根上の明かり取りは、開閉可能となっています。



●キャブ背後の炭庫側ヘッドライトも点灯します。こちらはアーノルドカブラーを装着済みとしています。付属の自連形TNカブラーに交換できます。また、炭庫上部に設置された東武無線アンテナに加えて、後部端梁に追加されたヨ8000形との連絡用ジャンパ栓を再現、昇降用ハシゴや解放デコなどを別パーツとして、炭庫側モリアルに見せています。なお、キャブ側面窓は運転時をイメージして、開いた状態としています。



●スハフ14-1、オハフ15-1のテールライトとトレインマークは白色LEDで点灯し、カラープリズムによりテールライトは赤色で点灯します。オハフ15-1（写真右）の車掌室側にはTNカブラーを装着、アーノルドカブラー・装備のスハフ14-1（写真左）は、付属するTNカブラー、ジャンパ栓パーツ、台車枠を交換することで、こちらも実感的な前面が楽しめます。また、いずれも車掌室屋根上には、設置された東武無線アンテナを取り付けています。なお、洗面所窓が残る両形式は、実車に則して台車を含めた床下周りをグレーで再現、スハフ14-1の床下発電エンジンは、形態をリアルに模したパーツを取り付けています。



●新規に製作したオハテ12-2の開放型展望デッキは、クリアパーツへの印刷によって保護柵を再現、側面の緑帯と展望の標記を印刷しています。こちらも床下周りはグレーとし、大型の水タンクは別パーツを取り付けています。なお、塗色は14系2両と異なる「青15号」の車体色を再現しています。



●ヨ8709は改造された各部を再現、前位（手ブレーキハンドル非装備）側のデッキ部に取り付けられたヘッドライト2灯は、LEDによって点灯します（テールライトは前後ともに非点灯）。また、下周りを新規製作の上、車端部に追加された連絡用ジャンパ栓や増設された蓄電池箱を再現しています。



C11形(325号機)



14系・ヨ8000形(SL大樹・青色)セット(4両)

東武鉄道が日光・鬼怒川エリアで運行する、C11形蒸気機関車けん引の「SL大樹」。2017年8月から運転を始めた同列車は、下今市～鬼怒川温泉間の12.4kmに加えて、2020年8月からは下今市～東武日光間の7.1kmでも運転されています。全国各地の鉄道会社から移ってきた「SL大樹」用の車両は、けん引機のC11形3両と、これらの次位に連結される東武鉄道用ATS機器搭載のヨ8000形車掌車2両、開放型の展望デッキを備える12系改造客車2両、14系客車6両の他、SL運転時の補機や「DL大樹」のけん引に使用されるDE10形2両が在籍しています。

トミックスでは「SL大樹」に使用される車両の内、C11形は真岡鐵道から移ってきた325号機を、ヨ8000形は元JR西日本の8709を、12系は元JR四国の「ムーンライト」用オロ12-10改造のオハテ12-2を、14系は元JR四国のスハフ14-1、オハフ15-1をモデル化、C11形は単品で、車掌車、客車は4両セットにまとめました。ハイグレード仕様のC11 325は、走行用モーターを小柄なボイラー内に収めながら、可能な限りスケールに近付けた設計とし、同号機のナンバープレートその他、「SL大樹」のヘッドマークが付属しています。また、ヨ8709は黒色車輪を採用、車体番号と各種標記類を印刷し、新規製作のオハテ12-2は特徴的な展望デッキ部分をリアルに再現しました。さらに、スハフ14-1、オハフ15-1には「SL大樹」のトレインマークを装着、客車はいずれも新集電システム、グレー台車枠、銀色車輪を採用し、3両の車体番号、オハテ12-2側面のロゴマークを印刷しています。なお、C11形は通過カーブ半径が243mm以上となっています。

東武C11形

(325号機)

東武14系・ヨ8000形

(SL大樹・青色)

■東武鉄道 C11 形蒸気機関車 (325号機)

<8618> 予価¥16,500 (税込)

■東武鉄道 14系・ヨ8000形 (SL大樹・青色) セット(4両)

<98563> 予価¥16,390 (税込)

東武鉄道株式会社商品化許諾済 12月発売予定